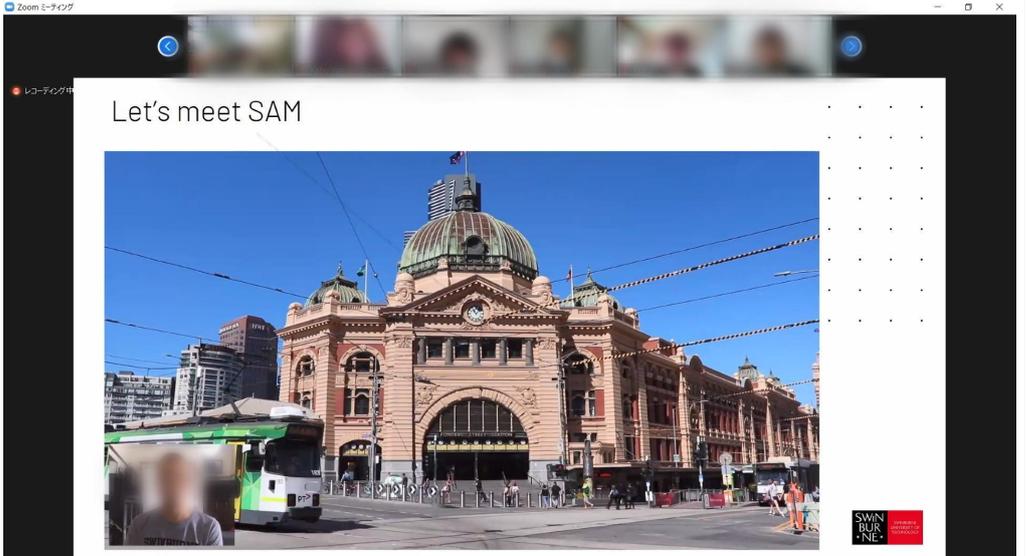


羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

3系 (B) 1年 氏名 福山 彰大

参加プログラム名	English for Uni
研修期間	R3年 8月 16日 ~ R3年 8月 27日
研修先機関名・所在国	スインバン大学(オーストラリア)
研修の概要 (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	このプログラムでは、自宅に居ながら英語力が向上させ、留学生としてスインバン大学で学ぶことの素晴らしさを体験できる。このプログラムでの私の目標は、対話の英語力を向上させ新たな友達を作ること、成功から自信を持たせ失敗から改善点を見つけ将来に活かすこと、英語でのプレゼンテーション能力を身に着けること、異文化や海外の現状を知り多面的な視点の考えを得ることの4つがある。主な活動内容として月曜日から水曜日は英語の授業があり、木・金曜日はアクティビティを行った。英語の授業では、リーディング、リスニング、スピーキング、語彙や発音、プレゼンテーション・ディスカッション能力をオーストラリアにまつわることを交えて学んだ。3,4人でのグループ活動やミニゲームを通して、楽しく学ぶことが出来た。アクティビティでは、地元の家や暮らし、有名な博物館、スインバン大学やその周辺、街並み、都市について紹介があったり、地元の方や子供たちとの交流があった。また、グループでの意見交換やワークショップがあった。このような活動を通して、成長できた点と改善するべき点を把握出来た。私は、積極的にジェスチャーを用いて会話し、語彙やリスニング能力を向上させることが出来た。また、日本との文化の違いやコロナ政策、スラングを知ることが出来た。しかし、発音が悪く伝わらないことやプレゼンテーションで英語のスペルが分からず円滑に出来なかったことがあった。この経験から発音やライティングの改善が必要だと気づいた。
活動写真 1枚 (修了証の写真でも可)	

羽ばたけ! TUT2021 報告書

研修内容

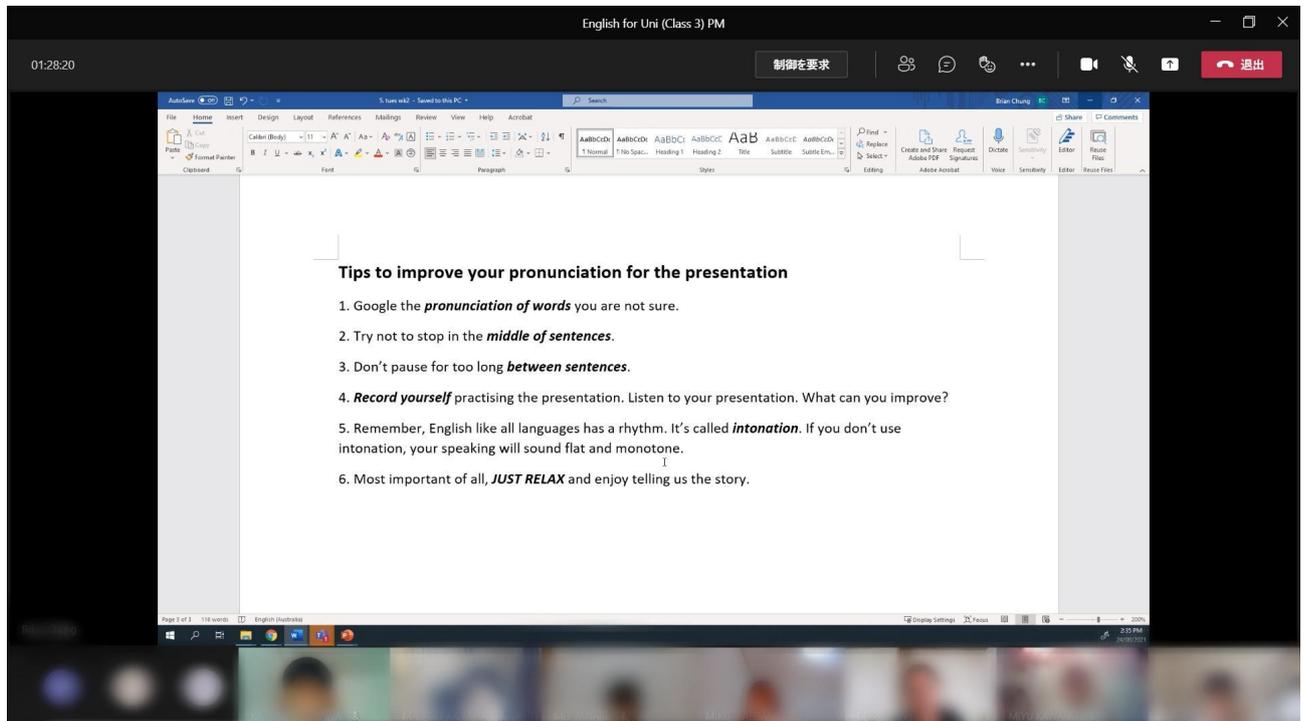
1 参加の目的や動機

私がこのプログラムに参加したのは、私の夢や目標を叶えるために、国外に出て英語力や海外の文化について学ぶ必要があるからです。また、私は英語に対して苦手意識がありそれを払拭するためでもあります。苦手意識があるまま実際に現地に留学することは自分のためにならないと思い、自宅で学ぶことができるオンライン留学に興味を持ちました。オンライン留学のプログラムの中でスインバン大学のプログラムは、他大学の英語の授業を体験することができ、地元の方との交流が多くあったため選びました。また、プレゼンテーションも多くあり、将来に必要な能力を得られると考えました。

2 研修内容

• English class

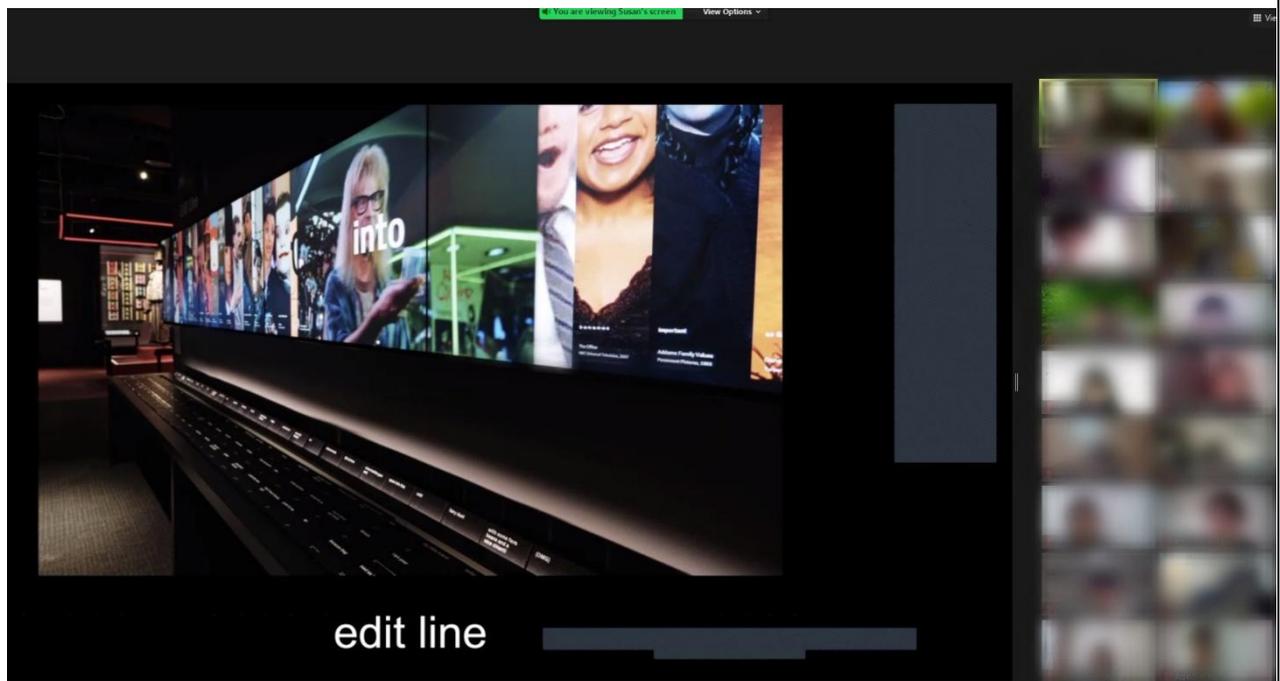
- 月、火、水曜日 11:00 ~ 12:30, 13:00 ~ 14:30 (日本時間) 2 週間 Microsoft Teams
- 1 クラス 17 人で教師が PowerPoint を共有しながら授業を行う。
- 授業の最初には、体調や昨日、休日の過ごし方を聞かれる。
- 学習テーマは日によって異なる。(your hometown, animal, food, art etc)
- 授業ごとに重視する能力が異なる。(Vocabulary, Pronunciation, Listening, Reading, Speaking, Presentation skill, Discussion skill)
- 新しいテーマに行く前には出てくる英単語を覚える。
- 問題を答える早さと正誤で競うゲームや空欄補充問題、真偽問題を行った。
- 話すテーマをルーレットで決める。
- ブレイクアウトルームが頻繁に開かれ、3,4 名の学生で配られた資料にある問題や質問をディスカッションする。毎回ランダムでメンバーが変わる。
- プレゼンテーションでは、とある国の物語を紹介する課題を授業と並行して準備し、最終日にクラスメートに発表する。
- 最終日に授業の総復習として 3 チーム対抗のゲーム(GooseChase)を行う。



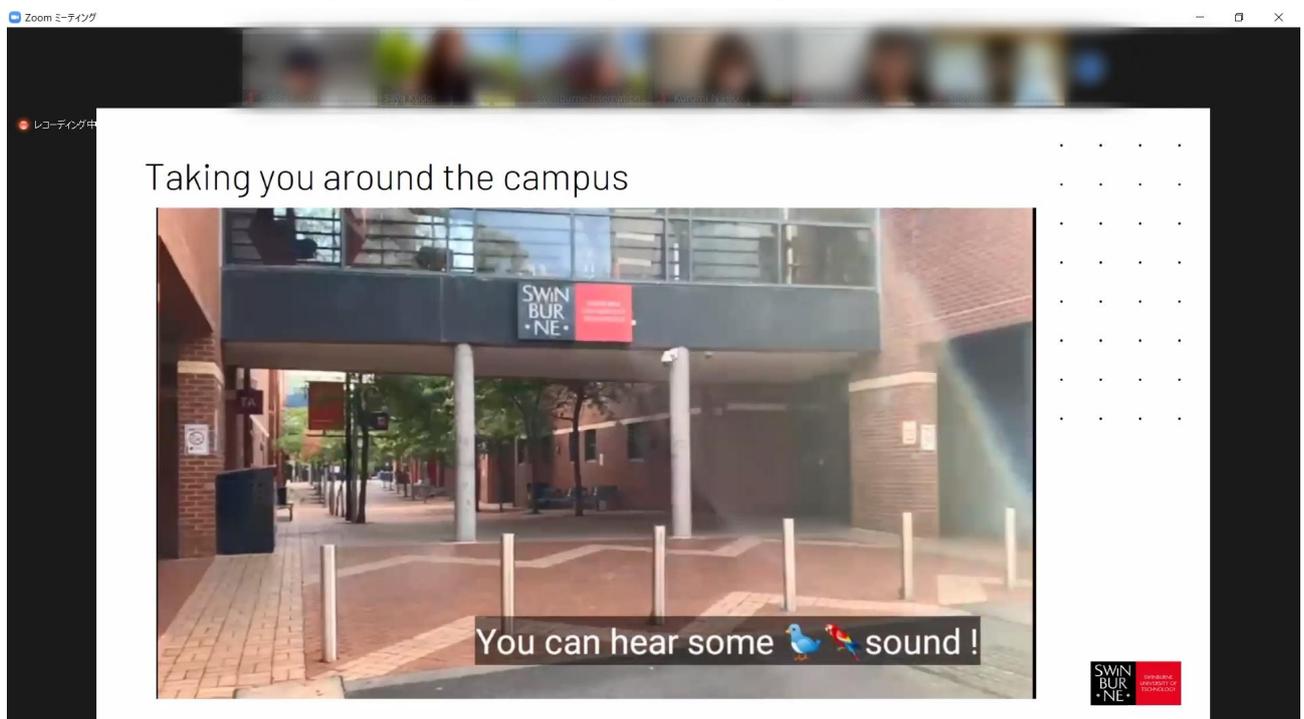
• Activities

- 木、金曜日 11:00 ~ 16:00 (日本時間) から数時間 2 週間 Zoom

- 日によってはクラスで分かれることがあるが全体 60 人弱の生徒が参加する。
- 授業中はチャットや口頭で質問ができる。
- ACMI Virtual Excursion
ACMI はオーストラリア映像博物館のことをいい、メルボルンの中心に位置します。
ここでは、ACMI にある南半球最大の映像とビデオアートの紹介がある。

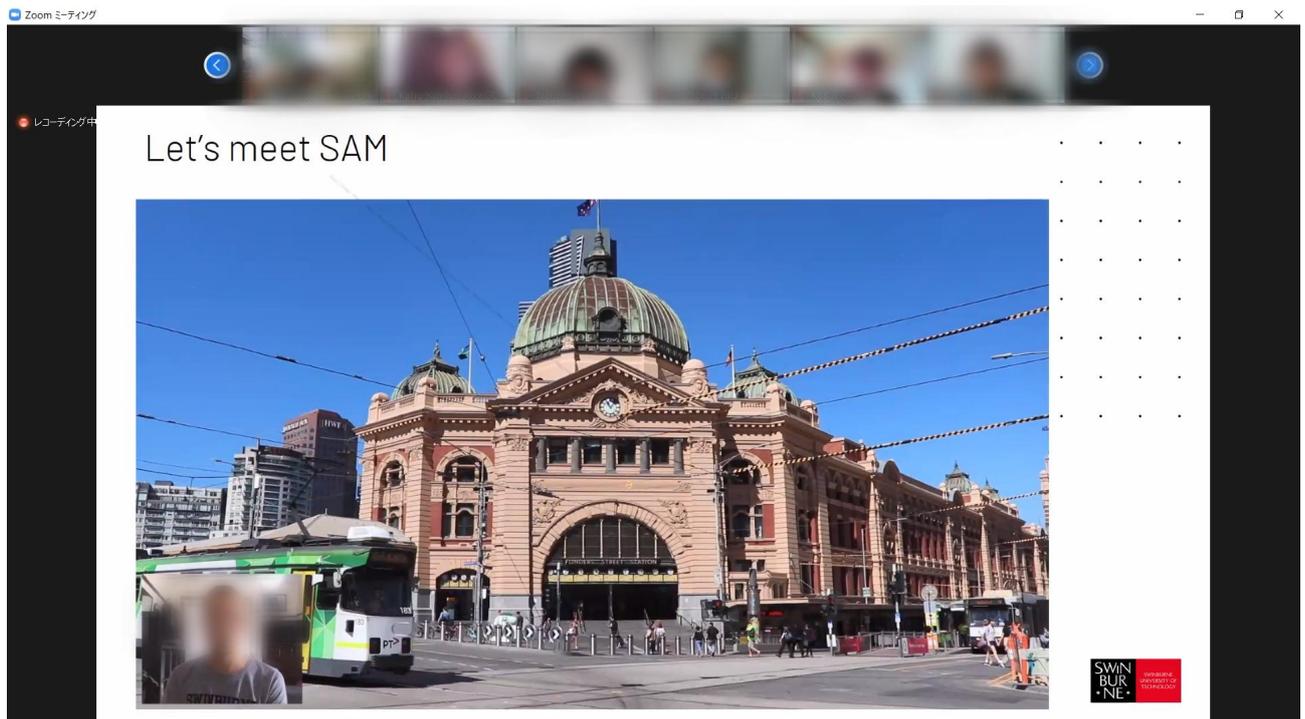


- Swinburne Campus Tour & Staff interview
学生寮や敷地、施設の紹介がある。
大学付近のお店紹介がある。
スタッフの紹介がある。英語学習の経験談を教えてくれる。



- Interact with local students
スウィンバン大学の学生や地域の子供たちと会話する。
5,6 人の生徒と地元の方 1 人を 1 グループとして、自己紹介から始め 20 分間程度話し、
地元の方や生徒を変更してローテーションする。

- Virtual Melbourne City Tour
駅前や繁華街、有名な建造物・スポットなどの紹介がある。
現地のコロナの状況について教えてくれる。



- Lecture(Global Business Culture)
授業を聞き、それに関する課題をグループで話し合う。
ホフステードの6次元モデルから国を比較する。
ジュリアン・S・ブレルのスピーチ動画を見る。

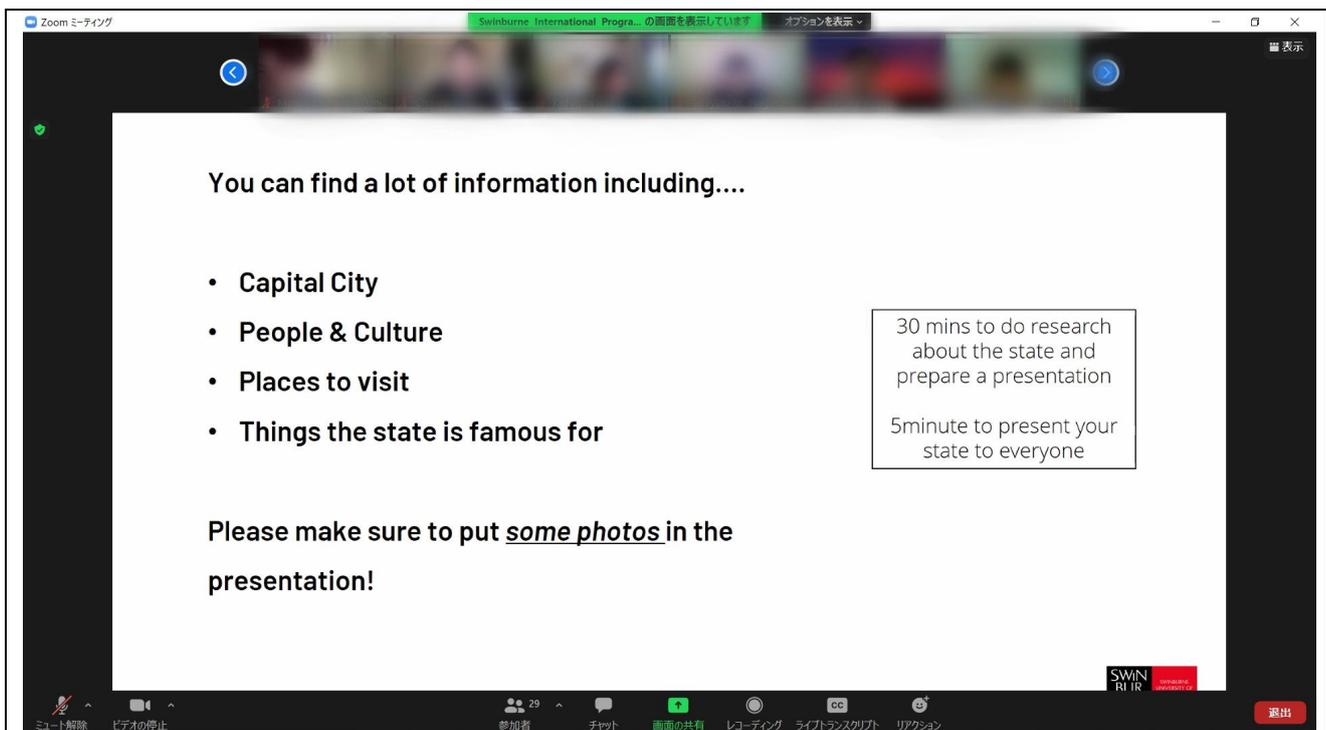
TIME TO REFLECT – IN YOUR GROUPS

THINK ABOUT SOME OF THE **VALUES, NORMS AND ROLES** IN YOUR SOCIETY

COME UP WITH SOME **EXAMPLES** OF THE VALUES, NORMS, ROLES, FOLKWAYS AND MORES OF **YOUR** SOCIETY

BE READY TO FEEDBACK TO THE GROUP

- Workshop
4人1グループで、オーストラリアの州を紹介するプレゼンテーションを作り、発表する。



- Homestay
2 週間内に 3 回行われた。
2 グループに分けて、別々の方の家やその周辺の紹介を受け、質問する。
海岸沿いの公園や通り、お店を紹介する。



3 研修の成果、研修で獲得したもの、当初設定した行動目標の達成度、問題点 スピーキング能力…

明確な答えを持っている場合は、すぐに答えられたが、持っていない場合は、悩みすぎて上手く
応答できなかった。

会話に入るためや話を聞いていることを示すために英語で反応していた。
文が単調や間違っているにもかかわらず、すぐ返答することを心掛けることができた。
英単語が思い出せなかった時の対処が疎かだった。

ジェスチャーを混じえ会話することで伝えようとする意思を伝えることができた。
単語が分かっていても発音できないことがあり、理解されないことがあった。
相手が使う文法や表現を真似することで、自分の英語の表現が増えた。
グループでディスカッションする時の英語での立ち回り方を学べた。
グループディスカッションで、英語で自分の意見を言うことが難しく感じた。

リスニング能力…

英語の授業の先生からの指示は聞き取ることができたが、地元の方と会話する時は、ネイティブの早さについていけなかった。

以前の自分では長時間集中して英語を聞くことができなかったが、以後はこの集中力が上がった。

聞き取り問題の時に英語の発音が分かっていても綴りが出てこないことがあった。

文全体を聞き取ることが出来なかったが、英語の一部を聞いて意味を解釈しようとしていた。

英語のリズムを知るためにアクセントを聞く姿勢を学んだ。

スラングが分からなかったが、日常生活でよく使われるスラングを学ぶことが出来た。

プレゼンテーションで分かりやすく伝える能力やリーディング能力を学んだ。

専門的な英単語や難しい英単語を覚え、語彙力が伸びた。

色々な方の体験談から英語学習のモチベーションを上げることができた。

日本との文化の違いやコロナの情勢・政策を知ることができた。

オーストラリアについての知識が増えた。

4 今後の目標、課題、当初設定した「研修後に実践する行動目標」の見直し

話が途切れることがあるので、流暢に話せるスピーキング能力を伸ばす。

英単語を覚え、すぐに会話で使えるようにするとともに忘れないようにする。

正しい発音やスペルを基本からしっかりと覚える。

ネイティブが話す音源(ラジオなど)を聞き、早くても理解できるリスニング能力を得る。

これから英語で論文を書くことを見据えて、リーディング能力を伸ばす。

これらの課題を解決できた後、渡航する留学プログラムに参加したい。

また、いずれは大学院での海外プログラムに挑戦してみたい。

オーストラリアのことを知れたことで、新たなことに興味が出た。他国の問題について目を向けようと思う。

地元の方や参加者の方と連絡先を交換する機会があり、またコロナ禍の後に会うことを計画している。私の周りには、他大学の学生や工学部以外の方と知り合ったことがなく、これから交流することで自分にとって刺激になる。

これからも継続して英語学習に励む。(大学の授業や TOEIC, 英検準1級など)

5 その他感想など

まだ若い学年で留学プログラムに参加することは良いと思った。目標を達成するための準備期間が長くなるとともに、改善点を早く発見でき成長できる時間も長くなる。今回のプログラムに参加したことで自分の未熟さや周りのレベルの高さを体感することができた。これからの英語学習のモチベーションに繋がりと、渡航する留学の予行練習にもなる。同世代で異なる環境下の人たち出会う機会が自分の可能性を広げる。英語が苦手な人でも手厚くサポートしてくれるため、勇気を持って参加することを勧める。